

情報連絡員報告総括表(令和元年10月分)

三重県中小企業団体中央会
 連絡員総数 40名
 回答数 40名 (100%)

業界の景気動向(前年同月比)

		売上高			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備操業度			雇用人員 <small>(臨時・パートを含む)</small>			業界景況		
		増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	悪化	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
製 造 業	食料品	1	3			4		2	2			4			3	1		3	1		4		1	3			1	3
	繊維工業		1	2		3			3			2	1		2	1		2	1		3			3			2	1
	木材・木製品			1		1			1				1			1			1			1		1				1
	紙・紙加工品		1	1	1	1			1	1		1	1		1	1		2			1	1		2			1	1
	印刷		1			1				1			1			1			1			1		1				1
	化学・ゴム																											
	窯業・土石製品		2	1		3		1	2			3			2	1		3			2	1		3			2	1
	鉄鋼・金属			1			1			1			1			1			1			1		1				1
	一般機器	1	2			3			3			2	1	1	1	1		3			3			2	1		2	1
	電気機器			1		1			1			1			1				1			1		1				1
	輸送機器			1			1			1			1			1				1			1		1			1
その他																												
小計		2	10	8	1	17	2	3	16	1		16	4	1	10	9		16	4		14	6	1	18	1		9	11
非 製 造 業	卸売業		1	1		1	1		2			2			1	1		2					2				2	
	小売業		2	4	1	4	1	1	5			5	1		3	3		4	2				5	1		1	5	
	商店街		1				1					1			1			1					1			1		
	サービス業		1	4					5			5			1	4		3	2				5			3	2	
	建設業	1	3						4			4		1	3		1	3					4		1	3		
	運輸業			1					1			1			1			1					1				1	
	その他		1						1			1			1			1					1				1	
小計		1	9	10	1	5	3	2	18			19	1	1	10	9	1	15	4			19	1	1	1	9	10	
合計		3	19	18	2	22	5	5	34	1		35	5	2	20	18	1	31	8		14	6	1	37	2	1	18	21

最近の主要指標の前年同月比D Iの推移

(平成30年10月～令和元年10月)

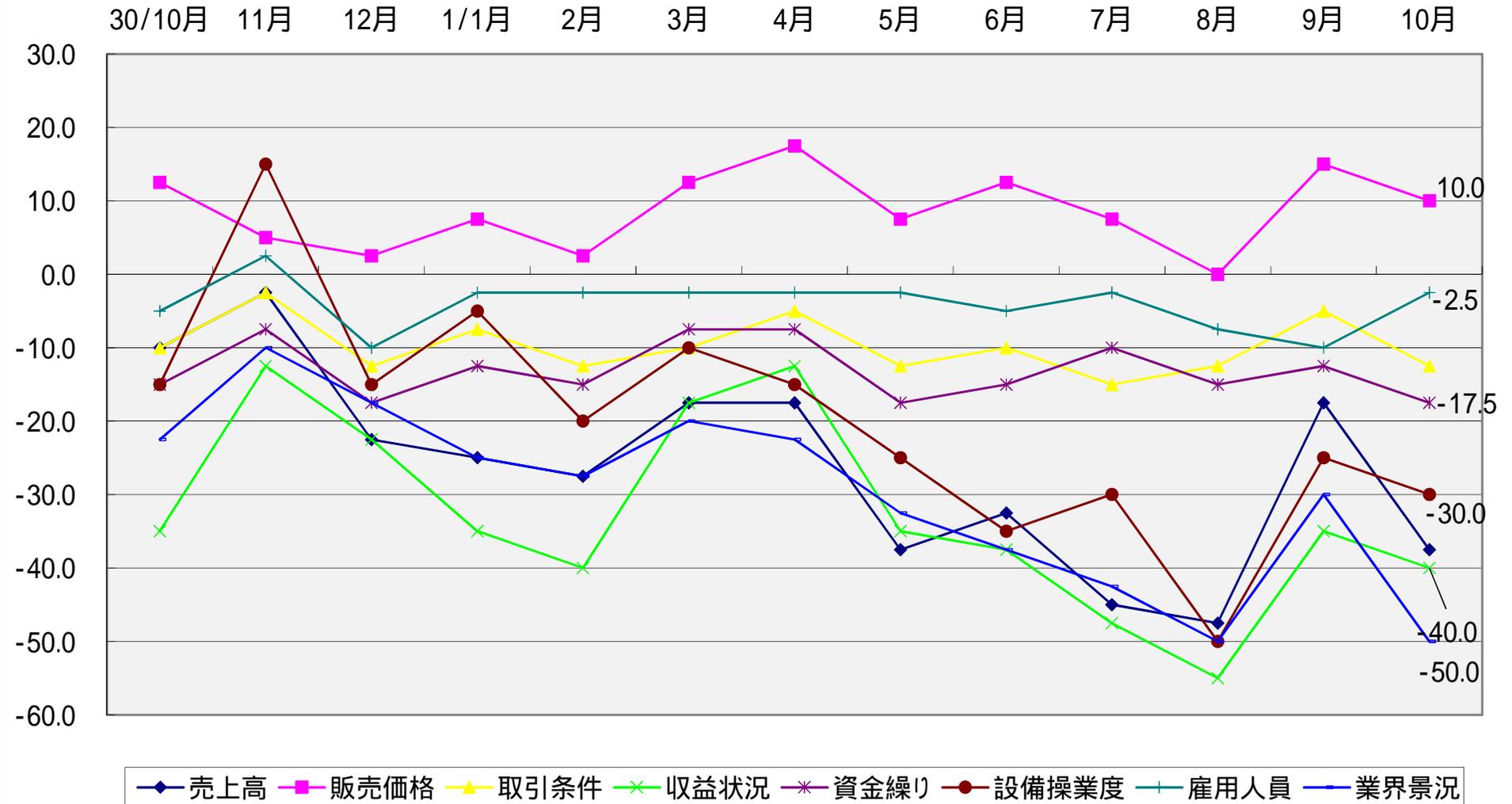
三重県中小企業団体中央会

連絡員総数 40名

	30/10月	11月	12月	1/1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	増減
売上高	-10.0	-2.5	-22.5	-25.0	-27.5	-17.5	-17.5	-37.5	-32.5	-45.0	-47.5	-17.5	-37.5	-20.0
販売価格	12.5	5.0	2.5	7.5	2.5	12.5	17.5	7.5	12.5	7.5	0.0	15.0	10.0	-5.0
取引条件	-10.0	-2.5	-12.5	-7.5	-12.5	-10.0	-5.0	-12.5	-10.0	-15.0	-12.5	-5.0	-12.5	-7.5
収益状況	-35.0	-12.5	-22.5	-35.0	-40.0	-17.5	-12.5	-35.0	-37.5	-47.5	-55.0	-35.0	-40.0	-5.0
資金繰り	-15.0	-7.5	-17.5	-12.5	-15.0	-7.5	-7.5	-17.5	-15.0	-10.0	-15.0	-12.5	-17.5	-5.0
設備操業度	-15.0	15.0	-15.0	-5.0	-20.0	-10.0	-15.0	-25.0	-35.0	-30.0	-50.0	-25.0	-30.0	-5.0
雇用人員	-5.0	2.5	-10.0	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-5.0	-2.5	-7.5	-10.0	-2.5	7.5
業界景況	-22.5	-10.0	-17.5	-25.0	-27.5	-20.0	-22.5	-32.5	-37.5	-42.5	-50.0	-30.0	-50.0	-20.0

(注1) 「D I」はデフレーション・インデックスの略で「増加」・「好転」したとする企業割合から、「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値である。

最近の主要指標の前年同月比DIの推移



情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
食料品	漬物	生産者の高齢化による生産量の減少が続いており、漬物業者自らの原料野菜の生産や県外からの原料野菜の確保を進めている。秋野菜の作付については、台風と長雨の影響により生育不良や病害の発生がみられる。また全日本漬物協同組合連合会による地域特産品委員会が12月8日に山梨県で開催の予定である。更に今年から外国人技能実習生を対象とした外国人技能実習評価試験を予定している。
	醤油味噌	今年の全国醤油品評会で下津醤油(株)の「特級利兵衛」が2年連続農林水産大臣賞を受賞し、知事に報告した。(資)西村商店も「ミエマン淡口しょうゆ」が優秀賞を受賞した。組合員の商品企画における手続きのため、別組織で醤油業中央公正取引協議会の三重県支部を設置した。消費税増税と併せて複数税率になり、現場に混乱があった。栄養表示、原料原産地表示、原料の遺伝子組み換え表示制度の改定等に手間がかかっている。小学校食育のしょうゆ出前授業を10月は10校実施した。11月は14校の予定である。
	豆腐	2018年産の国産大豆が不作のため品薄状態で、2019年産が入荷するまでのやりくりで苦労している。
	製麺	11月1日に地域特産めんの会議を開催した。今回は7名参加で、やや少なめであったが、HACCP導入勉強会と兼ねていて、井上氏より講義をいただいた。伊勢うどんのPR活動としては、秋田で行われた全国まるごとうどんエキスポでは、1800食が2日目2時には完売し、評価も良く、次につながっていくと実感した。伊勢神宮付近の伊勢うどんの売れ行きは好調である。
繊維工業	テントシート	昨年のような台風による風の被害もなく、この時期通常の操業となっている。
木材・木製品	木材	消費税増税以降も需要の低迷が続いている。
紙・紙加工品	紙器段ボール	日本製紙連合の発表によると、7月～9月の「紙と板紙」の国内出荷量は590万8000トンとなり、前年同月比1.1%の減少となった。板紙(段ボールと原紙)は、279万5000トンで1.1%減となった。ティッシュペーパーなどの衛生用紙は、12.8%の増となった。消費税増税前の駆け込み需要による荷動きは、一部のものに限られ、全体的には微減であった。県内の生産量も平年並みか、微減で推移した。
	古紙	10月の取扱い重量は、前年比で大幅にマイナスで：段ボールは約94±5%、新聞、チラシは約91±6%、雑誌、雑紙、その他を合わせて約93±5%であった。原因は前年の集荷が良かった事と消費税増税と天災の被害と景気の不透明感による減退のように思う。国内の紙・板紙の消費が大幅に減少し、少子化、高齢化、消費世代の海外赴任等がじわじわ確実に影響を出しつつあるように思う。全国的に古紙が余ってきており、製紙会社の購入量が限られて発注量が大幅に減ってきている。製品の原紙輸出が古紙の輸出が必要であるが、流通価格は暴落しており大幅な赤字輸出となる。働き方改革と社会保障費や税の負担も下請け中小零細企業に重くのしかかり、集荷量の減少と古紙持ち去り行為も収まらず無料排出所のゴミの置き去りもあり、悪意なき泥棒の小さな積み重ねも大きくなる。あおり運転と同じく不法投棄や泥棒や半グレ等への法対策も不可欠であるが、なかなか難しいようである。
印刷	印刷	三重県民手帳が発売になり、新聞、テレビ、ラジオや地域の情報誌等の広報活動をおこなった。
窯業・土石製品	伊賀焼	消費税増税に伴い、伊賀焼伝統産業会館の入館料を1階(商品展示販売コーナー)は無料、2階(奥知コレクション 三重県有形文化財 展示室、資料室)のみ参観料(大人220円、中高生110円)を有料としたため、昨年同月に比べ、1階の売上は微増であったものの入館者数が大きく伸びた。
鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産量は9月とほぼ同様であった。自動車部品関連は横ばい状態、建築関連部品はやや低下、産業機械関連はやや低下、電気部品関連も減少と全体的にやや減少といったところである。その中、半導体関連が底を打ち、若干の動きをみせ始めた。今後もう少しづつではあるが、増加に向かって動き出した。
一般機器	四日市	当組合員の多くは自社独自の技術や特定の企業との取引先を確保しているので、仕事の量は十分得られているが、以前ほど利益が出ないのが現状である。
	津市	消費税が増税された事で影響が出てくると思われたが、そのような事もなく昨年よりは売上増加となった。個人消費の方は減少のようなので、法人関係には数か月後から影響が出てくるかもしれない。
	伊勢	先月と同じような動きである。米中関係悪化の影響で、引き続き下降局面が続いている。

情報連絡一覧票

集計上の分類業種	具体的な業種 (産業分類細分類相当)	組合等及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
電気機器	鳥羽	下期に入ったが、この1ヶ月間、思うように受発注は伸びず、未だに苦戦している。明るい傾向がみえない。
	鈴鹿	鈴鹿市内の大手自動車メーカーで生産する新型車に使用する部品に不具合があり、発売開始が遅れている。その影響で当該車種の部品を受注している下請け企業でも多数の非正規従業員が余剰となっているが、生産再開時のフル稼働に備えて雇用を維持する必要があり、仕事の割り当てに苦慮している。
小売業	青果	野菜前半：北海道産かぼちゃが最盛期となり豊作で甘みも強く美味しい。白菜、大根はお値打ち。トマト、ミニトマトの入荷が増え、お買い得。野菜後半：台風19号の影響で流通が不安定になったものの価格への影響は限定的である。キャベツは順調に入荷し、価格も下がっている。玉ねぎは災害が相次ぐ中、供給、価格とも安定している。果物前半：県産の極早生みかんが最盛期でお買い得。長野産ラ・フランスは例年より早めで価格も平年並み。柿は豊作で刀根柿が値下がりしている。果物後半：りんごは長野産シナノスイート、青森産の早生ふじが美味しくお買い得。県産みかんも供給過多で安価が続く。県産の次郎柿が入荷、山梨産干し柿のあんぼ柿も入荷し、価格は平年並みである。
	自転車	当業界のシーズンである夏が過ぎ、冬に突入する。今年も自転車の販売台数は減少傾向にあった。人口約1万8千人の鳥羽市で営業しているが、個人的には自転車を売る事への期待はほとんど失ってしまったと言わざるを得ない状況であるが、鳥羽市に限って言えば、この所、点検整備、修理においては、明るい兆しがみえ始めている。サービス業としての私達の存在意義を認識して努力していくべきだと思う。
	電器	10月から消費税が10%に増税となり、家電の販売のウェイトの高いお店では、9月に駆け込み需要が多くあり、今月はその後処理に追われて反動が来ている。工事関係では、増税の影響もあるが販売のような反動は少ないと思われる。そのような中で、キャッシュレス決済により、5%還元をお客様にアピールして、9月の駆け込み需要の反動による落ち込みのカバーに努めた。
	石油	10月は大型台風に伴う影響において、燃料油販売数量が前年対比90%前後と大変厳しい状況であった。9月の台風15号に引き続き超大型の台風19号の影響において関東甲信越、東北地方の洪水や土砂災害において広範囲に被害をもたらし、通信、電気、水道等の日常生活に現在も大変支障をきたしている。現在において特にライフラインにおける燃料供給給油所について経済産業省は全国に8ヶ所において自家発電設備設置の住民拠点サービスステーションを予定しており、現在全国に約3,500ヶ所、三重県には現在43ヶ所設置されており、住民拠点サービスステーションは経済産業省のホームページにて確認できる。
	スポーツ	ワールドカップラグビー大会で日本チームの大活躍で大変な盛り上がりだった。このようなイベントで組合員の店が恩恵にあずかれば良いのだが、JAPANのユニフォーム、レプリカは入手できない。大量仕入れができないようになっているので、大変残念でならない。
商店街	熊野市	熊野産養殖本マグロのPRを兼ねたイベントが商店街内の朝市イベントと併催された。格安販売されたお寿司や地元産味噌を使用したマグロ汁のふるまい等が行われ、約3000人の集客で大いに盛り上がった。現在この本マグロを使用したフェアが地元飲食店10数店舗にて参加され開催されており、人気を博している。
サービス業	旅館	今年の夏以来、予約は秋まで好調に推移していて、幸い県下では大きな災害も発生しなかったが、度々発生した台風による交通機関の計画運休、台風情報等によるキャンセルによって生じた売上減が収益の低下となり苦慮している。10月の3連休や週末も天候に恵まれず、月初めの予約人数が伸ばせなかった。売上、収益は全体では昨年並みか少し落としたようだった。
	測量	伊勢志摩地域にも河川災害があり、少しであるが組合員企業に復旧のための測量設計が発注された。
	警備	台風等の荒天日が多く、稼働日が少なく売上が減少となった。
建設業	内装工事業	10月は前年同月の値より少しだけ増加となった。例年どおり年末にかけて受注は増加傾向になると思われる。
運輸業	トラック	輸送量減少に伴い、収益減少となっている。

行政庁・中央会に対する要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	行政庁・中央会に対する要望事項、または関心のある事項、意見等
食料品	製麺	12月12日地域特産めん研究部会を開催する。都合が合えば、参加してほしい。
一般機器	四日市	政治家(それも大臣)の不祥事が報じられ、就任1.5ヶ月で辞任した。政治不信がつのるばかりである。
サービス業	旅館	HACCP導入に向けた支援を願いたい。(1)旅館ホテル向けのセミナーの開催 (2)計測器具等の支援
	測量	このままでは廃業に追い込まれるだろう。